

福井県病院事業会計

1 事業の概要

本事業は、県立病院および県立すこやかシルバー病院の運営を行っているものである。

県立病院は、本県における基幹病院として、救急医療をはじめ、一般身体疾患の高度医療および精神疾患の早期治療から社会復帰までの一貫した精神医療の提供を行うとともに、生活習慣病の早期発見と早期治療のための総合病院である。

県立すこやかシルバー病院は、認知症高齢者に対し診断治療しながら処遇の判断を行うとともに家族への介護教育を行うなど、医療・保健・福祉の各分野における総合的サービスを提供する認知症疾患の専門病院である。

なお、県立すこやかシルバー病院の運営・管理については、指定管理者制度に基づき、平成18年4月以降、財団法人認知症高齢者医療介護教育センターが行っている。

(1) 経営状況

2病院の当年度の総収益は18,630,558,924円、総費用は19,019,094,272円で、純損失は388,535,348円であり、前年度に比べ719,831,353円(△64.9%)減少している。

経 営 状 況 (県立病院、県立すこやかシルバー病院)

(単位：円、%)

	平成22年度	平成21年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
総収益	18,630,558,924	17,550,031,203	1,080,527,721	6.2
総費用	19,019,094,272	18,658,397,904	360,696,368	1.9
純損失	388,535,348	1,108,366,701	△719,831,353	△64.9
前年度繰越欠損金	13,730,704,785	12,622,338,084	1,108,366,701	8.8
当年度未処理欠損金	14,119,240,133	13,730,704,785	388,535,348	2.8

(この表は、損益計算書の収益および費用の総計で、消費税および地方消費税抜き。)

経 営 状 況 (県立病院)

(単位：円、%)

	平成22年度	平成21年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
総収益	17,829,946,015	16,773,218,951	1,056,727,064	6.3
総費用	18,226,662,094	17,877,820,613	348,841,481	2.0
純損失	396,716,079	1,104,601,662	△707,885,583	△64.1
前年度繰越欠損金	14,119,982,867	13,015,381,205	1,104,601,662	8.5
当年度未処理欠損金	14,516,698,946	14,119,982,867	396,716,079	2.8

(この表は、損益計算書の収益および費用の総計で、消費税および地方消費税抜き。)

経営状況（県立すこやかシルバー病院）

（単位：円、％）

	平成２２年度	平成２１年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
総収益	800,612,909	776,812,252	23,800,657	3.1
総費用	792,432,178	780,577,291	11,854,887	1.5
純利益	8,180,731	△ 3,765,039	11,945,770	著増
前年度繰越利益剰余金	389,278,082	393,043,121	△ 3,765,039	△ 1.0
当年度未処分利益剰余金	397,458,813	389,278,082	8,180,731	2.1

（この表は、損益計算書の収益および費用の総計で、消費税および地方消費税抜き。）

（２）利用者の状況

２病院の延患者数は 659,660 人で、前年度に比べ 787 人(0.1％)増加している。

利用者の状況

（単位：人、％）

	平成２２年度	平成２１年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
延入院患者数	323,814	319,758	4,056	1.3
延外来患者数	328,509	332,729	△ 4,220	△ 1.3
ドック利用者数	7,337	6,386	951	14.9
延患者数	659,660	658,873	787	0.1

２ 予算および決算の状況

収益的収支および資本的収支の予算および決算の状況（消費税および地方消費税を含む。）は、次のとおりである。

収益的収支の予算および決算（県立病院、県立すこやかシルバー病院）

（単位：円）

区分	予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	増減額（B＋C）－A
収入	18,368,698,000	18,678,938,289	—	310,240,289
支出	19,332,455,000	19,062,378,710	0	△ 270,076,290

資本的収支の予算および決算（県立病院、県立すこやかシルバー病院）

（単位：円）

区分	予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	増減額（B＋C）－A
収入	2,664,461,000	2,548,990,700	—	△ 115,470,300
支出	3,309,735,000	3,208,483,892	0	△ 101,251,108
収支差	—	△ 659,493,192	—	—

資本的収入額が資本的支出額に対して不足している 659,493,192 円については、過年度損益勘定留保資金で補てんされている。

収益的収支の予算および決算（県立病院）

（単位：円）

区 分	予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	増減額 (B + C) - A
収 入	17,551,826,000	17,878,073,288	—	326,247,288
支 出	18,521,006,000	18,269,694,440	0	△ 251,311,560

資本的収支の予算および決算（県立病院）

（単位：円）

区 分	予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	増減額 (B + C) - A
収 入	2,594,883,000	2,479,412,700	—	△ 115,470,300
支 出	3,174,240,000	3,073,620,698	0	△ 100,619,302
収支差	—	△ 594,207,998	—	—

資本的収入額が資本的支出額に対して不足している 594,207,998 円については、過年度損益勘定留保資金で補てんされている。

収益的収支の予算および決算（県立すこやかシルバー病院）

（単位：円）

区 分	予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	増減額 (B + C) - A
収 入	816,872,000	800,865,001	—	△ 16,006,999
支 出	811,449,000	792,684,270	0	△ 18,764,730

資本的収支の予算および決算（県立すこやかシルバー病院）

（単位：円）

区 分	予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	増減額 (B + C) - A
収 入	69,578,000	69,578,000	—	0
支 出	135,495,000	134,863,194	0	△ 631,806
収支差	—	△ 65,285,194	—	—

資本的収入額が資本的支出額に対して不足している 65,285,194 円については、過年度損益勘定留保資金で補てんされている。

なお、各病院の審査の結果および意見は、次に述べるとおりである。

(県立病院)

1 概要

平成 22 年度末現在、中央医療センター、がん医療センター、救命救急センター、母子医療センター、こころの医療センター、健康診断センター、平成 23 年 3 月 6 日に開所した陽子線がん治療センターの 7 センターで構成され、20 の診療科および 1,082 床を有している。

なお、こころの医療センターが平成 21 年 8 月 1 日から 2 病棟休止に伴い 115 床、休床している。

また、平成 21 年 7 月に「福井県立病院経営改革プラン」を策定し、その達成を進めるため同年 8 月に第三次中期経営計画を策定し、病院経営の更なる効率化に取り組んでいる。

(1) 経営状況

総収益は 17,829,946,015 円、総費用は 18,226,662,094 円で、純損失は 396,716,079 円であり、前年度に比べ 707,885,583 円 (△64.1%) 減少している。

経 営 状 況 (単位：円、%)

	平成 22 年度	平成 21 年度	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
総 収 益	17,829,946,015	16,773,218,951	1,056,727,064	6.3
医業収益	15,716,966,906	14,712,130,691	1,004,836,215	6.8
医業外収益	2,112,979,109	2,061,088,260	51,890,849	2.5
特別利益	0	0	0	0.0
総 費 用	18,226,662,094	17,877,820,613	348,841,481	2.0
医業費用	17,152,769,823	16,838,578,404	314,191,419	1.9
医業外費用	1,071,234,971	1,038,094,209	33,140,762	3.2
特別損失	2,657,300	1,148,000	1,509,300	著増
純 損 失	396,716,079	1,104,601,662	△ 707,885,583	△ 64.1
前年度繰越欠損金	14,119,982,867	13,015,381,205	1,104,601,662	8.5
当年度未処理欠損金	14,516,698,946	14,119,982,867	396,716,079	2.8

(この表は、損益計算書の収益および費用の総計で、消費税および地方消費税抜き。)

(2) 利用者の状況

延患者数は621,341人で、前年度に比べ523人(△0.1%)減少している。

病床利用率は83.7%で、前年度に比べ、3.9ポイント上回っている。

また、患者1人1日当たりの診療収入については、入院が40,006円で前年度に比べ2,309円(6.1%)増加し、外来が10,433円で前年度に比べ750円(7.7%)増加している。

利 用 者 の 状 況

(単位：床、人、%、円)

		平成22年度	平成21年度	対前年度比較	
				増 減	増減率
入 院	病 床 数	1,075	1,075	0	0.0
	延 患 者 数	295,253	292,746	2,507	0.9
	病 床 利 用 率	83.7	79.8	—	3.9
	患者1人1日当たり診療収入	40,006	37,697	2,309	6.1
外 来	延 患 者 数	318,751	322,732	△ 3,981	△ 1.2
	1 日 平 均 患 者 数	1,312	1,334	△ 22	△ 1.6
	患者1人1日当たり診療収入	10,433	9,683	750	7.7
ド ック	病 床 数	7	7	0	0.0
	利 用 者 数	7,337	6,386	951	14.9
病 床 数 合 計		1,082	1,082	0	0.0
延 患 者 数 合 計		621,341	621,864	△ 523	△ 0.1

(注1) 病床利用率については、平成21年4月から平成21年7月は1,082床、平成21年8月からは967床で計算している。

(注2) 年間外来診療日数は、平成22年度 243日、平成21年度 242日である。

2 損益状況

(1) 医業損益

医業収益は 15,716,966,906 円で、前年度に比べ 1,004,836,215 円 (6.8%) 増加している。

医業費用は 17,152,769,823 円で、前年度に比べ 314,191,419 円 (1.9%) 増加している。

その結果、医業損失は 1,435,802,917 円となっている。

医 業 損 益 (単位：円、%)

	平成 2 2 年度	平成 2 1 年度	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
医 業 収 益	15,716,966,906	14,712,130,691	1,004,836,215	6.8
入院収益	11,812,026,717	11,035,640,845	776,385,872	7.0
外来収益	3,325,704,000	3,125,162,765	200,541,235	6.4
その他医業収益	579,236,189	551,327,081	27,909,108	5.1
医 業 費 用	17,152,769,823	16,838,578,404	314,191,419	1.9
給与費	8,970,699,924	8,841,736,495	128,963,429	1.5
材料費	3,798,299,635	3,565,842,659	232,456,976	6.5
経費	2,277,623,552	2,077,392,388	200,231,164	9.6
減価償却費	2,003,821,720	2,302,574,465	△ 298,752,745	△ 13.0
資産減耗費	62,583,176	13,399,625	49,183,551	著増
研究研修費	39,741,816	37,632,772	2,109,044	5.6
医 業 損 失	1,435,802,917	2,126,447,713	△ 690,644,796	△ 32.5

（２）医業外損益

医業外収益は 2, 112, 979, 109 円で、前年度に比べ 51, 890, 849 円（2. 5％）増加している。

医業外費用は 1, 071, 234, 971 円で、前年度に比べ 33, 140, 762 円（3. 2％）増加している。

医 業 外 損 益

（単位：円、％）

	平成 2 2 年度	平成 2 1 年度	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
医 業 外 収 益	2, 112, 979, 109	2, 061, 088, 260	51, 890, 849	2. 5
受取利息配当金	3, 286, 629	1, 880, 348	1, 406, 281	74. 8
補助金	32, 850, 049	23, 656, 708	9, 193, 341	38. 9
患者外給食収益	19, 709, 634	20, 581, 695	△ 872, 061	△ 4. 2
その他医業外収益	237, 233, 195	197, 047, 239	40, 185, 956	20. 4
繰入金	1, 819, 899, 602	1, 817, 922, 270	1, 977, 332	0. 1
医 業 外 費 用	1, 071, 234, 971	1, 038, 094, 209	33, 140, 762	3. 2
支払利息および企業債取扱諸費	617, 855, 313	633, 550, 004	△ 15, 694, 691	△ 2. 5
繰延勘定償却	109, 621, 927	104, 193, 231	5, 428, 696	5. 2
患者外給食諸費	16, 697, 187	16, 599, 754	97, 433	0. 6
保育所運営費	19, 583, 180	10, 970, 540	8, 612, 640	78. 5
関連教育病院実習費	6, 324, 601	7, 525, 680	△ 1, 201, 079	△ 16. 0
雑損失	301, 152, 763	265, 255, 000	35, 897, 763	13. 5
医 業 外 利 益	1, 041, 744, 138	1, 022, 994, 051	18, 750, 087	1. 8

医業損失 1, 435, 802, 917 円に医業外損益を加減した経常損失は 394, 058, 779 円である。

（３）特別損益

特別損失として、臨床研修費等補助金他の返還に伴う過年度損益修正損 2, 657, 300 円を計上している。

特 別 損 益

（単位：円、％）

	平成 2 2 年度	平成 2 1 年度	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
特 別 損 失	2, 657, 300	1, 148, 000	1, 509, 300	著増
特別利益	0	0	0	—
特別損失	2, 657, 300	1, 148, 000	1, 509, 300	著増

以上の結果、当年度純損失は 396,716,079 円となっている。

損 益 比 較 (単位：円、%)

	平成 2 2 年度	平成 2 1 年度	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
医 業 損 失	1,435,802,917	2,126,447,713	△ 690,644,796	△ 32.5
医業収益	15,716,966,906	14,712,130,691	1,004,836,215	6.8
医業費用	17,152,769,823	16,838,578,404	314,191,419	1.9
医 業 外 利 益	1,041,744,138	1,022,994,051	18,750,087	1.8
医業外収益	2,112,979,109	2,061,088,260	51,890,849	2.5
医業外費用	1,071,234,971	1,038,094,209	33,140,762	3.2
経 常 損 失	394,058,779	1,103,453,662	△ 709,394,883	△ 64.3
特 別 損 失	2,657,300	1,148,000	1,509,300	著増
特別利益	0	0	0	—
特別損失	2,657,300	1,148,000	1,509,300	著増
純 損 失	396,716,079	1,104,601,662	△ 707,885,583	△ 64.1

3 経営成績（事業の収益性）

本事業の収益性を示す比率は、次のとおりである。

総収支比率は、前年度を 4.0 ポイント上回り、97.8%となっている。

医業収支比率は、前年度を 4.2 ポイント上回り、91.6%となっている。

収 益 性 の 状 況 (単位：%)

項 目	平成 2 2 年度	平成 2 1 年度	平成 2 0 年度	平成 1 9 年度	平成 1 8 年度
総収支比率 (総収益／総費用)	97.8	93.8	90.8	81.7	89.0
医業収支比率 (医業収益／医業費用)	91.6	87.4	85.1	76.5	83.6

※ 総収支比率は、損益計算上、総体の収益で総体の費用を賄うことができるかどうかを示し、この比率が高いほど純利益率が高いことを表す。

数値が 100%未満の場合は、損失が生じていることを意味する。

※ 医業収支比率は、特別損益、医業外収支といった病院本来の活動とは直接結びつかない収支を除外して、病院固有の経済活動に着目した収益性分析といふことができ、数値が 100%未満の場合は、健全経営とはいえない。

4 財政状態

(1) 資産の状況

資産合計は 45,362,953,762 円で、前年度に比べ 7,264,354,217 円(19.1%)増加している。この主な要因は、陽子線がん治療センターの建物および器械備品を資産計上したためである。

未収金の主なものは、2 月分から 3 月分までの診療報酬等 2,280,527,202 円を含む医業未収金 2,629,494,921 円で、前年度に比べ 219,664,744 円(8.7%)増加している。

資 産 の 状 況 (単位：円、%)

	平成 2 2 年度末 現 在 高	平成 2 1 年度末 現 在 高	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
固 定 資 産	37,661,082,737	31,738,724,913	5,922,357,824	18.7
有形固定資産	37,604,076,164	31,697,803,558	5,906,272,606	18.6
土地	1,925,620,947	1,925,620,947	0	0.0
建物	28,707,176,012	26,921,092,405	1,786,083,607	6.6
構築物	366,413,694	393,838,895	△ 27,425,201	△ 7.0
器械備品	6,567,922,003	2,417,648,582	4,150,273,421	著増
車両	9,721,508	12,380,729	△ 2,659,221	△ 21.5
その他有形固定資産	27,222,000	27,222,000	0	0.0
無形固定資産	50,563,073	34,434,855	16,128,218	46.8
投資	6,443,500	6,486,500	△ 43,000	△ 0.7
流 動 資 産	6,429,846,080	5,052,449,745	1,377,396,335	27.3
現金預金	3,572,661,418	2,456,081,750	1,116,579,668	45.5
未収金	2,747,286,105	2,527,621,361	219,664,744	8.7
うち、医業未収金	2,629,494,921	2,507,271,954	122,222,967	4.9
貯蔵品	101,898,557	60,746,634	41,151,923	67.7
その他流動資産	8,000,000	8,000,000	0	0.0
繰延勘定	1,272,024,945	1,307,424,887	△ 35,399,942	△ 2.7
控除対象外消費税額	1,272,024,945	1,307,424,887	△ 35,399,942	△ 2.7
資 産 合 計	45,362,953,762	38,098,599,545	7,264,354,217	19.1

なお、医業未収金のうち医療費の患者負担金の状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

	平成 2 2 年度	平成 2 1 年度	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
現 年 度 分	118,120,422	129,146,562	△ 11,026,140	△ 8.5
うち3月末定期請求分	51,926,291	48,874,669	3,051,622	6.2
過 年 度 分	175,847,855	163,013,221	12,834,634	7.9
計	293,968,277	292,159,783	1,808,494	0.6

(2) 負債の状況

負債合計は 2,158,496,232 円で、前年度に比べ 192,293,589 円 (9.8%) 増加している。

負債の状況			(単位：円、%)	
	平成 22 年度末 現在高	平成 21 年度末 現在高	対前年度比較	
			増減額	増減率
固定負債	813,868,153	632,637,368	181,230,785	28.6
退職給与引当金	813,868,153	632,637,368	181,230,785	28.6
流動負債	1,344,628,079	1,333,565,275	11,062,804	0.8
未払金	831,766,513	848,206,546	△ 16,440,033	△ 1.9
未払費用	421,530,103	394,196,700	27,333,403	6.9
その他流動負債	91,331,463	91,162,029	169,434	0.2
負債合計	2,158,496,232	1,966,202,643	192,293,589	9.8

(3) 資本の状況

資本合計は 43,204,457,530 円で、前年度に比べ 7,072,060,628 円 (19.6%) 増加している。この主な要因は、陽子線がん治療センターの建物および器械備品を計上したためである。

資本の状況			(単位：円、%)	
	平成 22 年度末 現在高	平成 21 年度末 現在高	対前年度比較	
			増減額	増減率
資本金	37,107,384,280	37,178,409,283	△ 71,025,003	△ 0.2
自己資本金	1,702,910,339	1,702,910,339	0	0.0
借入資本金	35,404,473,941	35,475,498,944	△ 71,025,003	△ 0.2
剰余金	6,097,073,250	△ 1,046,012,381	7,143,085,631	著増
資本剰余金	20,551,275,843	13,011,474,133	7,539,801,710	57.9
利益剰余金	△ 14,454,202,593	△ 14,057,486,514	△ 396,716,079	2.8
資本合計	43,204,457,530	36,132,396,902	7,072,060,628	19.6

5 一般会計繰入金の状況

一般会計からの繰入金は 2,854,335,302 円で、前年度に比べ 176,806,282 円(6.6%)増加している。

このうち、収益的収入分は、1,819,899,602 円で、前年度に比べ 1,977,332 円(0.1%)増加している。

また、資本的収入分は1,034,435,700 円で、前年度に比べ174,828,950 円(20.3%)増加している。この主な要因は、陽子線がん治療センターの整備に係る負担金の増加である。

なお、収益的収入に対する繰入金の割合は 10.2%で、前年度を 0.6 ポイント下回っており、資本的収入に対する繰入金の割合は 41.7%で、前年度を 15.4 ポイント下回っている。

一般会計繰入金の状況

(単位：円、%)

区 分		平成 2 2 年度末 現 在 高	平成 2 1 年度末 現 在 高	対 前 年 度 比 較	
				増 減 額	増減率
一 般 会 計 繰 入 金	収 益 的 収 入 (a)	1,819,899,602	1,817,922,270	1,977,332	0.1
	負担金	1,382,501,679	1,519,590,310	△ 137,088,631	△ 9.0
	補助金	437,397,923	298,331,960	139,065,963	46.6
	資 本 的 収 入 (b)	1,034,435,700	859,606,750	174,828,950	20.3
	負担金	1,034,435,700	859,606,750	174,828,950	20.3
	計 (a) + (b) (c)	2,854,335,302	2,677,529,020	176,806,282	6.6
収益的収入合計 (d)		17,829,946,015	16,773,218,951	1,056,727,064	6.3
資本的収入合計 (e)		2,479,412,700	1,505,382,950	974,029,750	64.7
繰 入 率	収益的収入に対する 繰入金 (a) / (d)	10.2	10.8	—	△ 0.6
	資本的収入に対する 繰入金 (b) / (e)	41.7	57.1	—	△ 15.4

6 資金の状況

(1) 資金収支

資金の収支は、受入資金 23,513,943,650 円に対し支払資金 19,941,282,232 円で、差引き 3,572,661,418 円が現金・預金として翌年度へ繰越されている。

資金収支の状況 (単位：円、%)

区分	平成 22 年度	平成 21 年度	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
受入資金	23,513,943,650	20,546,784,739	2,967,158,911	14.4
支払資金	19,941,282,232	18,090,702,989	1,850,579,243	10.2
差 引	3,572,661,418	2,456,081,750	1,116,579,668	45.5

(注) この表の数値は、当該年度中の資金収支の状況であり、受入資金には前年度繰越金を含む。

(2) 年度末資金の推移

年度末資金の推移 (単位：千円)

年度 項目	平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度	平成 19 年度	平成 18 年度
① 現金預金残高	3,572,661	2,456,082	1,596,263	1,347,752	1,858,651
② 未 収 金	2,747,286	2,527,621	2,294,820	2,263,297	2,115,097
③ 有 価 証 券	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
④ 貯 蔵 品	101,899	60,747	61,633	54,983	58,322
⑤ 未 払 金	831,767	848,207	1,169,254	1,290,652	2,366,017
⑥ 預 り 金	91,331	91,162	91,672	78,982	113,512
年度末資金①+②+③+④-⑤-⑥	5,506,748	4,113,081	2,699,790	2,304,398	1,560,541

(注) この表の各区分の数値は、3月31日現在の資金の状況である。

7 福井県立病院経営改革プランにおける数値目標等

(1) 資金収支

22年度決算は、病院事業収益が179億円、病院事業費用が183億円で、資金収支18億円を計上しており、改革プラン目標を達成している。

(単位：億円)

収 支(税込)	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算	平成22年度 プラン目標	平成22年度 決算	平成23年度 プラン目標 B
病院事業収益 ①	162	168	171	179	183
うち入院収益	107	110	119	118	122
うち外来収益	29	31	26	33	29
うち繰入金 ②	17	18	19	18	24
病院事業費用 ③	178	179	181	183	191
うち給与費	87	88	92	90	96
うち材料費	35	37	37	40	38
うち減価償却費等 ④	26	24	22	20	22
純利益 (⑤=①-③)	△ 16	△ 11	△ 10	△ 4	△ 8
累積利益剰余金 ⑥	△ 130	△ 141	△ 156	△ 145	△ 164
資金収支 ⑦	3	8	4	18	7
内部留保資金残高 ⑧	23	31	28	51	35

(2) 数値目標

改革プラン目標に対する22年度実績は、次のとおりである。

(単位：％、日)

数値目標	平成20年度 実績	平成21年度 実績	平成22年度 プラン目標	平成22年度 実績	平成23年度 プラン目標
病床利用率 稼動病床	77.4	79.8	85	84.4	85
病床利用率 一般病床	84.1	87.0	88	87.5	90
経常収支比率	90.9	93.9	94	97.9	95
経常収支比率 (減価償却費等除く)	106.5	107.4	107	109.8	108
職員給与比率	59.8	59.1	60	56.4	61
職員給与比率 (がんC、陽子線除く)	59.6	58.3	59	56.4	59
材料比率	24.7	25.4	24	25.3	24
平均在院日数	14.9	15.1	14	14.7	14
紹介率	48.3	50.1	56	54.3	60
逆紹介率	65.4	64.5	65	70.4	65

※目標値≦実績値で目標達成となるもの…病床利用率、経常収支比率、紹介率、逆紹介率
目標値≧実績値で目標達成となるもの…職員給与比率、材料比率、平均在院日数

8 審査意見

当年度は、昨年度と比較すると総患者数は横ばいながら、診療報酬改定や地域医療連携の推進等により医業収益は4年連続増加となっている。

また、安価な診療材料への切換えや後発医薬品の使用、医薬品等の一括調達の導入により経費削減に取り組んでいる。

しかし、経営全体では、企業債償還金や減価償却費等が大きな負担となっており、引き続き医業収益の増加や、競争原理を働かせた経費の節減等を図られ、経営の健全化に努められたい。

1年以上未収となっている医療費の患者負担金については、当年度から新たに弁護士法人への債権回収業務委託等を行っており、一定の成果を上げてはいるが、全体としては増加しているため、更なる債権回収を進められたい。

なお、平成23年3月に陽子線がん治療センターが供用開始され、公益財団法人日本医療機能評価機構の認定病院としての更新がなされたことから、より一層の先進医療の充実に努められたい。併せて、医療スタッフの確保に努めるとともに、県民への質の高い医療の提供に積極的に取り組み、今後とも、県民から信頼される本県の基幹病院としての役割を果たしていくよう要望する。

(県立すこやかシルバー病院)

1 概要

病床数 100 床を有するほか、通所可能な在宅の認知症高齢者を対象としたデイ・ケアサービスを行っている。

なお、指定管理者制度に基づき、平成 18 年 4 月以降、財団法人認知症高齢者医療介護教育センターが運営・管理を行っており、今年度は、その 5 年目である。

(1) 経営状況

総収益は 800,612,909 円、総費用は 792,432,178 円で、純利益は 8,180,731 円であり、前年度に比べ 11,945,770 円著しく増加している。

経 営 状 況 (単位：円、%)

	平成 2 2 年度	平成 2 1 年度	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
総 収 益	800,612,909	776,812,252	23,800,657	3.1
医業収益	519,489,586	496,244,335	23,245,251	4.7
医業外収益	281,123,323	280,567,917	555,406	0.2
総 費 用	792,432,178	780,577,291	11,854,887	1.5
医業費用	691,961,090	675,909,582	16,051,508	2.4
医業外費用	100,471,088	104,667,709	△ 4,196,621	△ 4.0
純 利 益	8,180,731	△ 3,765,039	11,945,770	著増
前年度繰越利益余剰金	389,278,082	393,043,121	△ 3,765,039	△ 1.0
当年度未処分利益余剰金	397,458,813	389,278,082	8,180,731	2.1

(この表は、損益計算書の収益および費用の総計で、消費税および地方消費税抜き。)

(2) 利用者の状況

延患者数は 38,319 人で、前年度に比べ 1,310 人 (3.5%) 増加している。

病床利用率は 78.2% で、前年度を 4.2 ポイント上回っている。

また、患者 1 人 1 日当たりの診療収入については、入院が 14,381 円で前年度に比べ 108 円 (0.8%) 増加し、外来が 11,142 円で前年度に比べ 71 円 (0.6%) 増加している。

利 用 者 の 状 況 (単位：床、人、%、円)

		平成 2 2 年度	平成 2 1 年度	対 前 年 度 比 較	
				増 減	増減率
入 院	病床数	100	100	0	0.0
	延患者数	28,561	27,012	1,549	5.7
	病床利用率	78.2	74.0	—	4.2
	患者1人1日当たり診療収入	14,381	14,273	108	0.8
外 来	延患者数	9,758	9,997	△ 239	△ 2.4
	うちデイ・ケア延患者数	3,188	3,296	△ 108	△ 3.3
	1日平均患者数	40	41	△ 1	△ 2.4
	患者1人1日当たり診療収入	11,142	11,071	71	0.6
延 患 者 数 合 計		38,319	37,009	1,310	3.5

(注) 年間外来診療日数は、平成22年度 243日、平成21年度 242日である。

2 損益状況

(1) 医業損益

医業収益は 519,489,586 円で、前年度に比べ 23,245,251 円 (4.7%) 増加している。

医業費用は 691,961,090 円で、前年度に比べ 16,051,508 円 (2.4%) 増加している。

その結果、医業損失は 172,471,504 円となっている。

医 業 損 益 (単位：円、%)

	平成 2 2 年度	平成 2 1 年度	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
医業収益	519,489,586	496,244,335	23,245,251	4.7
入院収益	410,763,013	385,558,496	25,204,517	6.5
外来収益	108,726,573	110,685,839	△ 1,959,266	△ 1.8
医業費用	691,961,090	675,909,582	16,051,508	2.4
経 費	566,663,010	560,921,862	5,741,148	1.0
減価償却費	116,888,939	114,354,991	2,533,948	2.2
資産減耗費	8,409,141	632,729	7,776,412	著増
医 業 損 失	172,471,504	179,665,247	△ 7,193,743	△ 4.0

(2) 医業外損益

医業外収益は 281,123,323 円で、前年度に比べ 555,406 円 (0.2%) 増加している。

医業外費用は 100,471,088 円で、前年度に比べ 4,196,621 円 (△4.4%) 減少している。

医 業 外 損 益 (単位：円、%)

	平成 2 2 年度	平成 2 1 年度	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
医業外収益	281,123,323	280,567,917	555,406	0.2
受取利息配当金	2,045,589	4,381,580	△ 2,335,991	△ 53.3
負担金交付金	1,869,524	0	1,869,524	皆増
その他医業外収益	191,210	4,498,337	△ 4,307,127	△ 95.7
繰入金	277,017,000	271,688,000	5,329,000	2.0
医業外費用	100,471,088	104,667,709	△ 4,196,621	△ 4.0
支払利息および企業債取扱諸費	94,613,770	99,111,860	△ 4,498,090	△ 4.5
繰延勘定償却	5,360,410	5,213,892	146,518	2.8
雑損失	496,908	341,957	154,951	45.3
医 業 外 利 益	180,652,235	175,900,208	4,752,027	2.7

医業損失 172,471,504 円に医業外損益を加減した経常利益は 8,180,731 円となっている。

以上の結果、当年度純利益は8,180,731円となっている。

損 益 比 較 (単位：円、%)

	平成22年度	平成21年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
医 業 損 失	172,471,504	179,665,247	△ 7,193,743	△ 4.0
医業収益	519,489,586	496,244,335	23,245,251	4.7
医業費用	691,961,090	675,909,582	16,051,508	2.4
医 業 外 利 益	180,652,235	175,900,208	4,752,027	2.7
医業外収益	281,123,323	280,567,917	555,406	0.2
医業外費用	100,471,088	104,667,709	△ 4,196,621	△ 4.0
経 常 利 益	8,180,731	△ 3,765,039	11,945,770	著増
純 利 益	8,180,731	△ 3,765,039	11,945,770	著増

3 経営成績（事業の収益性）

本事業の収益性を示す比率は、次のとおりである。

総収支比率は、前年度を1.5ポイント上回り、101.0%となっている。

医業収支比率は、前年度を1.7ポイント上回り、75.1%となっている。

収 益 性 の 状 況 (単位：%)

項 目	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
総収支比率 (総収益／総費用)	101.0	99.5	100.4	102.1	120.1
医業収支比率 (医業収益／医業費用)	75.1	73.4	76.0	78.5	94.8

※ 総収支比率は、損益計算上、総体の収益で総体の費用を賄うことができるかどうかを示し、この比率が高いほど純利益率が高いことを表す。

数値が100%未満の場合は、損失が生じていることを意味する。

※ 医業収支比率は、特別損益、医業外収支といった病院本来の活動とは直接結びつかない収支を除外して、病院固有の経済活動に着目した収益性分析といえることができ、数値が100%未満の場合は、健全経営とはいえない。

4 財政状態

(1) 資産の状況

資産合計は1,870,364,473円で、前年度に比べ96,253,080円(△4.9%)減少している。

未収金の主なものは、1月分から3月分までの診療報酬等126,335,831円を含む医業未収金129,694,311円で、前年度に比べ4,169,670円(3.3%)増加している。この主な要因は、患者数の増加に伴う診療報酬等の増加によるものである。

資 産 の 状 況 (単位：円、%)

	平成22年度末 現 在 高	平成21年度末 現 在 高	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
固定資産	1,870,364,473	1,966,617,553	△ 96,253,080	△ 4.9
有形固定資産	1,869,673,273	1,965,206,353	△ 95,533,080	△ 4.9
建物	1,786,453,634	1,896,741,231	△ 110,287,597	△ 5.8
構築物	20,442,277	22,166,095	△ 1,723,818	△ 7.8
器械備品	62,537,164	46,058,829	16,478,335	35.8
車両	240,198	240,198	0	0.0
無形固定資産	691,200	1,411,200	△ 720,000	△ 51.0
流動資産	1,567,719,441	1,494,165,414	73,554,027	4.9
現金預金	1,433,023,430	1,365,575,925	67,447,505	4.9
未収金	131,696,011	125,589,489	6,106,522	4.9
うち、医業未収金	129,694,311	125,524,641	4,169,670	3.3
その他流動資産	3,000,000	3,000,000	0	0.0
繰延勘定	24,096,359	28,004,519	△ 3,908,160	△ 14.0
控除対象外消費税額	24,096,359	28,004,519	△ 3,908,160	△ 14.0
資 産 合 計	3,462,180,273	3,488,787,486	△ 26,607,213	△ 0.8

なお、医業未収金のうち医療費の患者負担金の状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

	平成22年度	平成21年度	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
現 年 度 分	10,311,041	11,214,306	△ 903,265	△ 8.1
うち3月末定期請求分	422,021	4,856,136	△ 4,434,115	△ 91.3
過 年 度 分	3,358,480	3,380,870	△ 22,390	△ 0.7
計	13,669,521	14,595,176	△ 925,655	△ 6.3

(2) 負債の状況

負債合計は 3,000,000 円で、前年度と同額である。

負債の状況

(単位：円、%)

	平成 2 2 年度末 現 在 高	平成 2 1 年度末 現 在 高	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
流動負債	3,000,000	3,000,000	0	0.0
未払金	0	0	0	0.0
その他流動負債	3,000,000	3,000,000	0	0.0
負 債 合 計	3,000,000	3,000,000	0	0.0

(3) 資本の状況

資本合計は 3,459,180,273 円で、前年度に比べ 26,607,213 円(△0.8%)減少している。

資本の状況

(単位：円、%)

	平成 2 2 年度末 現 在 高	平成 2 1 年度末 現 在 高	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
資本金	2,107,973,460	2,212,339,404	△ 104,365,944	△ 4.7
自己資本金	74,808,965	74,808,965	0	0.0
借入資本金	2,033,164,495	2,137,530,439	△ 104,365,944	△ 4.9
剰余金	1,351,206,813	1,273,448,082	77,758,731	6.1
資本剰余金	935,748,000	866,170,000	69,578,000	8.0
利益剰余金	415,458,813	407,278,082	8,180,731	2.0
資 本 合 計	3,459,180,273	3,485,787,486	△ 26,607,213	△ 0.8

5 一般会計繰入金の状況

一般会計からの繰入金は346,595,000円で、前年度に比べ、8,328,000円(2.5%)増加している。

このうち、収益的収入分は、277,017,000円で、前年度に比べ5,329,000円(2.0%)増加している。

また、資本的収入分は69,578,000円で、前年度に比べ2,999,000円(4.5%)増加している。これは企業債償還金の増加によるものである。

なお、収益的収入に対する繰入金の割合は、34.6%で前年度を0.4ポイント下回っており、資本的収入に対する繰入金の割合は100.0%で、前年度と同率である。

一般会計繰入金の状況

(単位：円、%)

区 分		平成22年度末 現 在 高	平成21年度末 現 在 高	対 前 年 度 比 較	
				増 減 額	増減率
一般会計繰入金	収益的収入(a)	277,017,000	271,688,000	5,329,000	2.0
	負担金	277,017,000	271,688,000	5,329,000	2.0
	資本的収入(b)	69,578,000	66,579,000	2,999,000	4.5
	負担金	69,578,000	66,579,000	2,999,000	4.5
	計(a)+(b)(c)	346,595,000	338,267,000	8,328,000	2.5
収益的収入合計(d)		800,612,909	776,812,252	23,800,657	3.1
資本的収入合計(e)		69,578,000	66,579,000	2,999,000	4.5
繰入率	収益的収入に対する繰入金(a)/(d)	34.6	35.0	—	△ 0.4
	資本的収入に対する繰入金(b)/(e)	100.0	100.0	—	0.0

6 資金の状況

(1) 資金収支

資金の収支は、受入資金2,229,912,404円に対し支払資金796,888,974円で、差引き1,433,023,430円が現金・預金として翌年度へ繰越されている。

資金収支の状況

(単位：円、%)

区分	平成22年度	平成21年度	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
受入資金	2,229,912,404	2,191,983,386	37,929,018	1.7
支払資金	796,888,974	826,407,461	△ 29,518,487	△ 3.6
差 引	1,433,023,430	1,365,575,925	67,447,505	4.9

(注) この表の数値は、当該年度中の資金収支の状況であり、受入資金には前年度繰越金を含む。

(2) 年度末資金の推移

年 度 末 資 金 の 推 移

(単位：千円)

年度 項目	平成 2 2 年度	平成 2 1 年度	平成 2 0 年度	平成 1 9 年度	平成 1 8 年度
① 現金預金残高	1,433,023	1,365,576	1,333,291	1,232,540	1,085,800
② 未 収 金	131,696	125,589	140,342	151,791	193,692
③ 有 価 証 券	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
④ 未 払 金	0	0	28,270	0	0
⑤ 預 り 金	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
年度末資金①+②+③-④-⑤	1,564,719	1,491,165	1,445,363	1,384,331	1,279,492

(注) この表の各区分の数値は、3月31日現在の資金の状況である。

7 審査意見

指定管理者制度を導入して5年目の当年度は、入院、外来患者数合計は昨年度と比べ微増し、純利益を計上した。

今後とも指定管理者に対し、経費の節減や医療スタッフの確保など県民サービスの充実に取り組むとともに、現在の高齢社会の中で予想される認知症患者の更なる増加に対応できる専門医療の提供や介護教育を一層充実するよう指導されたい。

また、1年以上未収となっている医療費の患者負担金の債権回収に引き続き努められたい。